

論文

景観がもたらす歓迎印象に関する研究

屋代 雅充*

A Study on Welcome Impression Caused by Landscapes

Masamichi Yashiro

要旨

観光行動において景観体験が占める役割は非常に大きく、良好な景観体験は多様な要因が複合して成り立っている。それらの中の快いもてなしに着目し、花や新緑、手入れの良さ、山や橋などのランドマークなどが人をもてなすとの仮説に基づいて、「歓迎」を感じさせる景観に関してインターネットアンケートを用い、1030人を対象に以下の2つの調査を実施した。①合成画像を含む20シーンの景観画像を提示し、各画像について「歓迎」に関連する24の評価項目を設け、「あてはまる」か否かを評価させた。②旅行先や訪問先で「歓迎」を感じると想定される45項目の語句を用意し、その感じ方を評価させた。その結果、①より歓迎的景観・良好な景観を生み出す条件とともに、それを阻害する条件が明らかとなった。また②より「歓迎」を感じさせる眺めの序列が明らかになるとともに仮説が実証でき、さらに性別や景観関心度および風景写真撮影の有無によって「歓迎」の感度に有意差が認められることが分かった。

1. 序

かつて観光は「物見遊山」と言われていたように、観光行動において地域の風物を「見る」と、すなわち景観体験が占める役割は非常に大きい。室谷正裕(1998)は観光業務に従事する専門家296名へのアンケート調査を元に観光地の魅力の評価構造を整理し、①賦存資源(自然/歴史・文化・伝統/景色・風景)、②活動メニュー(独自性/施設/温泉/活動/出会い/特産品)、③宿泊施設(宿泊施設/規模/食事/ホスピタリティ)、④空間快適性(景観・町並み/環境・快適空間/雰囲気・情緒/非日常性)の4大項目を挙げている¹⁾。この大項目において「ホスピタリティ」は「③宿泊施設」に関する1事項として扱われている一方、観光地の魅力を支える景観体験に関わる事項は、「①賦存資源」や「④空間快適性」として位置づけられており、大区分

* 東海大学観光学部観光学科(非常勤)
投稿日2018年10月15日 受理日2018年11月14日

の中で大きな比重を占めている。

観光において景色を眺めることによってその地域に固有の環境を、五感を通して体験することは、現地でなければ得られない観光ならではの特徴とも言える。したがって観光体験においては印象深い景観体験が求められるだろう。印象深い景観体験は図1（屋代：2015）に示されるように多様な要因によって成立していると考えられる²⁾。すなわち景観体験においては、主体たる人間が主に視覚を介して景観対象を知覚し、自身の持っている知識や経験あるいは知的情報（ガイドの解説や観光ガイドブックでの説明などを含む）をもとに景観対象に意味を付与している（屋代：1985）³⁾。景観体験は当然ながら景観の興味対象の良好さとともに視点の環境（視点場）の良否や主体の活動・行動さらに快いもてなしによっても大きく左右され評価される。この評価プロセスには常に主体の生理状態と心理状態とが介在している。こうした様々な要因の中で本研究では特に「快いもてなし」の部分に着目した。屋代（2015）が指摘しているように通常、「観光における“もてなし”や“ホスピタリティ”は、主として来訪者を迎える側の人の笑顔、挨拶、振る舞い、言動などの接客態度によって表現されると考えられている。しかしながら、こうした“もてなしの心”は空間の中にも表現することが可能」⁴⁾である。

そこで本研究では、空間に現れる物の見え方（空間表現）がどの程度まで人に歓迎を感じさせるのかという「問い」を立てた。

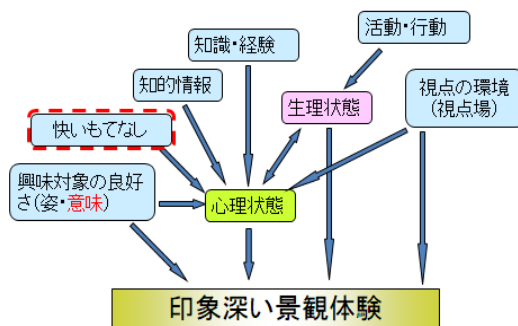


図1 印象深い景観体験の構成要因
仮説（屋代 2015、2004 に加筆）

2. 先行研究と仮説

中村良夫（1980）は、古くから都市共同体が営まれている町では、見知らぬ人同志が相互に敵意の無いことを表現するために、挨拶と作法の表現を都市空間の造形に反映させていると指摘している。例えば「民家の窓辺や軒下に花を置く慣習はヨーロッパでは広く行きわたっていて、（中略）こうした風景に接すると何かしらあいさつを受けたように感じられる。」と述べ、さらに我が国で見られる「門前の路地を掃き清めたり水を打ったりする風習」などもこれに相当するとしている⁵⁾。さらに、中村は、「塀とは、立ち入りの謝絶という操作的意味をはるかに超えた次元で象徴的価値を担っている。（中略）立ち入りを謝絶するという意志には、あいさつの含みが内在している。」⁶⁾と述べ、塀がもたらす拒絶や排他の印象を指摘している。これらは、歓迎とは逆の効果を空間が表現していることを表している。また、中村（1987）⁷⁾は都市空間には「作法美」が存在しており、例えば、住宅の入口に「出迎えの松」を植えたりする伝統的な手法には、「人が入ってくることを歓迎する、あいさつをするため」という役割が与えられていることを指

摘している。

一方、服部勝人(2008)⁸⁾はホスピタリティが常にサービスを内包するとともに、「もてなし」の一部を含む概念ではあるがそれと同義ではないことを指摘したうえで、接客に特化すればホスピタリティは「親切なもてなし」と捉えても問題はないとしている。そしてホスピタリティを構成する5大要素として創造的要素群、人的要素群、物的要素群、機能的要素群、最適共進要素群を挙げている。これらの中で特に物的要素群は「ホスピタリティを享受する側が、豊かな充実した雰囲気の中で楽しいひとときや美的・知的感動のひとときを過ごせるだろうという、期待感に応えうる環境提供による快適さを生み出す要素群」であると述べ、具体例として自然や建造物などの風景外観の美しさなどを挙げている。

しかしながら、本研究の「空間に現れる物の見え方(空間表現)がどの程度まで人に歓迎を感じさせるのか」という問いに関して、科学的な研究は見当たらない。すでに上記のような物的要素によって人をもてなす、あるいは歓迎する方法は日本の和風旅館の内部や門前では当然のこととして昔から経験的に採用されてきており、人を歓迎しもてなすための文化として日本では定着していると考えられる。例えば、花、噴水、ライトアップ、門前の打ち水、掃き清め、盛り塩などは、そうした空間表現の典型例であろう。他方、訪日観光客が日本に到着して富士山を目にすれば、富士山の眺めがある種の歓迎の役割を果たすことになると考えられる。この考えをさらに広げると、清流、固有のランドマークへの眺望(山・建造物・巨樹など)、地域の固有の風物、耕作地と農作物など、「多様な空間表現によって来訪者を歓迎することが可能であり、その効果の大きさは空間表現の内容によって優劣がある」という「仮説」を立てることができる。

そこで本研究では、このような経験則に基づく仮説をもとに、様々な景観対象が“空間のホスピタリティ”を担って見る者をどの程度「歓迎」することができるのかという視点で、インターネットアンケートによる調査を実施した。

3. 研究目的と方法

3.1 研究目的

本研究は、以下のように2種類のインターネットアンケートを用いて構成した。各アンケートの狙いは以下の通りである。

アンケート①：各種の景観画像20シーン(図2)を用意し、各画像(合成写真を含む)について表1に示す20個の評価項目に対して「あてはまる」か否かを回答させる(あてはまる／あてはまらない／どちらとも言えない、の三者択一)。これによりどのような画像が「歓迎的」で「良好」な景観として評価されるのかを明らかにする。また「排他的」で「不良」な景観の特徴を明確化する。

アンケート②：旅行先や訪問先で「歓迎」を感じる(あるいは感じない)眺めとして45項目の眺めあるいは空間表現を表す語句(表7)を用意し、各項目について「感じる」か否かを回答させる(感じる／経験なし／感じない、の三者択一)。これにより、景観のどのような事項(眺め、空間表現)が「歓迎」を感じさせることができるのか、それらの優劣はどのようになっている

るのかを明らかにする。

これらを明らかにすることによって、前節で掲げた仮説を立証するとともに、歓迎を感じさせる空間デザインの方向性を示すことが本研究の目的である。

3.2 研究方法

アンケート①及び②は、インターネット調査会社（M 社）を利用し⁹⁾、そこに登録している数 10 万人の国内回答候補者の中から条件に合う者に対して、先着で計 1030 人に回答をさせた。調査期間は、2016 年 02 月 15 日（月）～2016 年 02 月 17 日（水）で、全て横 800×縦 600 ピクセルの画像を表示できるディスプレイを備えた PC 画面を見ながら回答させるようにした。1030 名の回答者の在住地は全国 47 都道府県を網羅し、概ね各都道府県の人口に比例するように回答者数を配分するとともに、男女比もほぼ同数になるように回答者を制御した。なお、アンケート回答者には今回報告する内容以外にも、合成画像を含む各種景観画像を計 60 シーン提示して「歓迎」の印象の程度を 0～10 点で評価させる形式の設問にも回答させており、それらを回答した後にアンケート①と②の回答をさせている。

回答者の属性を把握するため、性別、年齢、職業、在住地の都道府県、居住地環境とともに「良好な景観への関心の有無」（まったく関心がない＝0 点、大いに関心がある＝10 点、として 10 点満点で評価）と「風景写真撮影の嗜好」（「風景写真を撮影することが好きですか」に対して、はい／どちらとも言えない／いいえ、の三者択一で回答）に関する質問を用意した。

3.2.1 アンケート①の研究方法 提示画像は図 2 に示す 20 シーンを用意した。画像 No. で【01（駅前花壇）・07（駅前花壇“雑草繁茂”）・13（駅前花壇“未植栽で土露出”）・20（駅前花壇“錆びたようこそ看板”）】、【02（海と小島）・18（海“小島消去”）】、【04（噴水公園“噴水消去”）・10（噴水公園）】、【05（コンクリート塀の上に生け垣）・12（塀の花）・19（コンクリートの塀）】、【08（ワイキキビーチ“山消去”）・16（ワイキキビーチ）】、【09（駅広の花“芝桜”）・15（駅広のアスファルト舗装）】の【 】で括った各グループでは、歓迎に関する各種の印象（表 1 参照）がどのように変化するかを確認するために画像の一部を加工してある。その他に、画像 No.03（街路のようこそアーチ）、06（沿道の花）、11（台場夜景）、14（駐車場と錆びた柵）、17（浅い小川の清流）のシーンを加えてある。これらの個々の画像を 1 シーンずつ回答者の PC 画面に横 800×縦 600 ピクセルの画質で提示し、表 1 に示す 20 個の評価項目に対して「あてはまる」か否かに関して、「あてはまる」、「あてはまらない」、「どちらとも言えない」のいずれかで選択回答させた。

表 1 アンケート①における評価項目

評価項目No.	画像から受ける印象について当てはまるか否かをご回答ください。
1	親しみやすい
2	よそよそしい
3	もてなしを感じる
4	もてなしを感じない
5	歓迎的
6	拒絶的
7	心がこもっている
8	心がこもっていない
9	こころよい
10	不快
11	気持ちが落ち着く
12	不安な気持ちになる
13	広々している
14	狭苦しい
15	洗練されている
16	洗練されていない
17	気持ちが明るくなる
18	気持ちが暗くなる
19	新鮮な感じ
20	古ぼけた感じ
21	手入れの良い
22	手入れの悪い
23	美しい
24	きたない

回答者には各画像について上記の各評価項目について「あてはまる」「あてはまらない」「どちらとも言えない」のいずれかを選択させる。

この回答結果を集計し、各画像の評価（「あてはまる」の選択者の割合）を手掛かりにクラスター分析を行い、歓迎的景観および良好な景観の特徴を把握する。さらに評価項目をクラスター分析によって整理し、景観の歓迎性と良好さとの関係を明確化する。

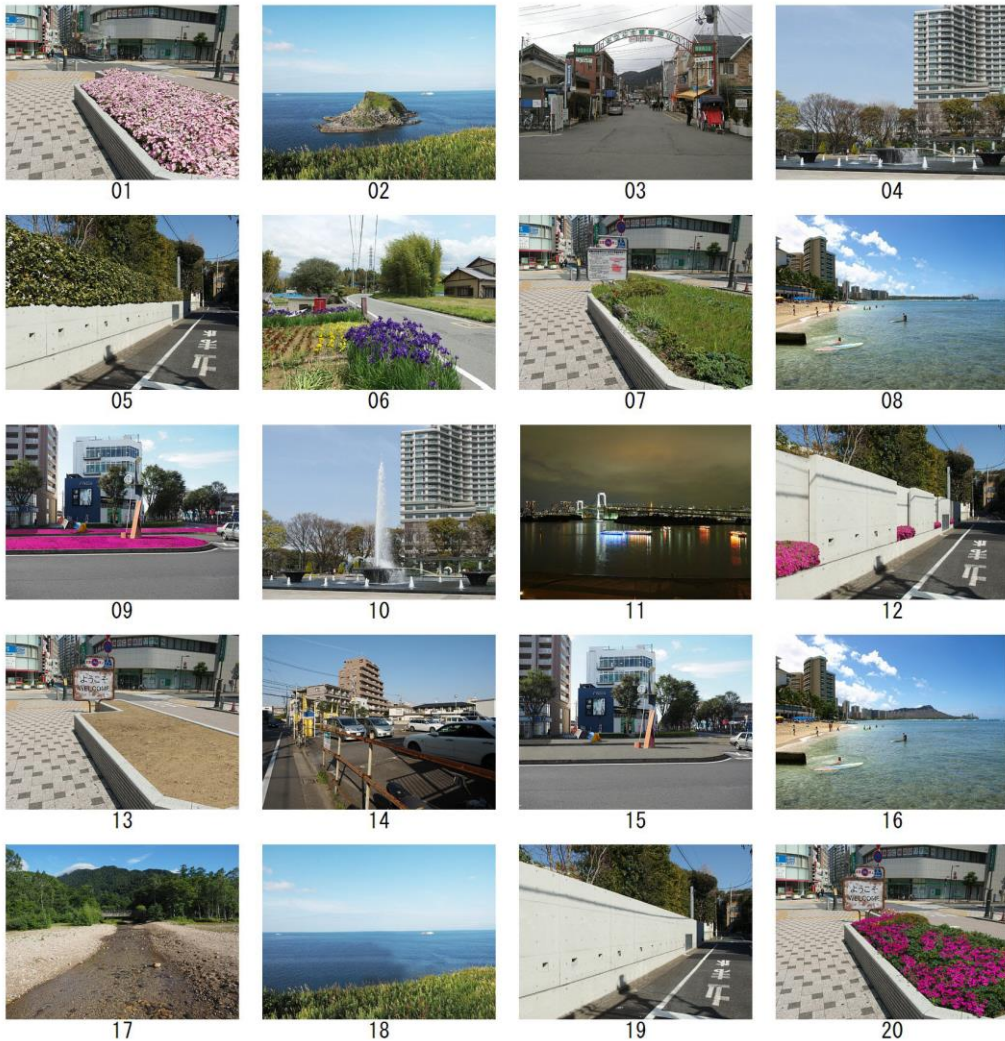


図2 アンケート①での提示画像と提示順序（仮説検証のために画像加工を施したものが含まれる）

3.2.2 アンケート②の研究手法 アンケート①と同じ回答者 1030 人に対して、旅行先や訪問先での眺めとして後述する表 7 に示す 45 種類の眺めや空間表現に関する語句による項目を想定し、これら 45 項目に関して歓迎を「感じる」か否かについて、「感じる」、「感じない」、「経験なし」のいずれかで選択回答させた。

これらの回答のうちの「感じる」と回答した人の割合に基づき、どのような眺めが歓迎を感じさせやすいのかを明らかにする。また、回答者の性別、景観への関心度、風景写真撮影を好むか否か、在住地環境の違いによって、統計的な有意差の検定を試みる。

3.3 回答者の属性

回答者 1030 人のうち女性 は 501 人（約 48.6%）、男性 は 529 人（約 51.4%）であった。年齢構成と性別をクロス集計した結果を表 2 に示す。一方、回答者の職業は表 3 に示すとおりであり、専業主婦の割合が 19.4%と、他の職業に較べて多めになった。これはインターネットアンケートに回答することで多少の収入を得たいというニーズや、回答するのにタイミング良く十分な時間を確保することができるといった条件に適合した層であると判断される。また、回答者の居住地環境は表 4 に示すとおり、457 人（約 44.4%）が建物の密集する市街地に居住しており、その他の者は比較的緑地の多い環境に居住していた。

表 2 回答者の性別と年齢階層

年齢階層	女性	男性	計(人)	%
18～19歳	4	2	6	0.6
20～24	17	9	26	2.5
25～29	53	15	68	6.6
30～34	60	34	94	9.1
35～39	64	42	106	10.3
40～44	74	73	147	14.3
45～49	62	76	138	13.4
50～54	62	85	147	14.3
55～59	43	73	116	11.3
60～64	29	44	73	7.1
65～69	30	48	78	7.6
70～79	3	28	31	3.0
計(人)	501	529	1030	100.0
%	48.6	51.4	100.0	

表 3 回答者の職業

職業	(人)	%
パート・アルバイト	133	12.9
会社員(その他)	111	10.8
会社員(技術系)	90	8.7
会社員(事務系)	140	13.6
学生	24	2.3
経営者・役員	21	2.0
公務員	34	3.3
自営業	88	8.5
自由業	28	2.7
専業主婦(主夫)	200	19.4
無職	117	11.4
その他	44	4.3
計(人)	1030	100.0

表 4 回答者の居住地環境

居住地環境	(人)	%
市街地(建物が密集)	457	44.4
空地や緑の多い住宅地	268	26.0
都市近郊(周辺に農地が散在している)	189	18.3
ニュータウン(大規模な住宅団地)	47	4.6
農村	46	4.5
山村	10	1.0
漁村	7	0.7
その他	6	0.6
計(人)	1030	100.0

4. 結果および分析と考察

4.1 アンケート①の結果の分析と考察

4.1.1 評価結果 図 2 に示した 20 シーンの画像に対して、表 1 に示した評価項目で「あてはまる」と評価した人の割合(%)を表 5 に示す。着色したセルは 40%以上の回答者が「あてはまる」と評価したものである。40%以上の人が「5. 歓迎的」と評価したシーンは No.1 (駅前花壇)、09 (駅広の花“芝桜”)、11 (台場夜景) で、またシーン No.03 (街路のようこそアーチ)、06 (沿道の花)、08 (ワイキキビーチ“山消去”)、10 (噴水公園)、16 (ワイキキビーチ) では 30%以上の人が「5. 歓迎的」と評価している。〔以降、「あてはまる」と評価した人の割合を「E=」で表記する〕

画像 No. 【01 (駅前花壇)・07 (駅前花壇“雑草繁茂”)・13 (駅前花壇“未植栽で土露出”)・20 (駅前花壇“錆びたようこそ看板)】、【04 噴水公園“噴水消去”)・10 (噴水公園)】、【08 (ワイキキビーチ“山消去”)・16 (ワイキキビーチ)】、【09 (駅広の花“芝桜”)・15 (駅広のアスファ

ルト舗装)】の各グループで比較すると、以下の事項が指摘できる。

画像 No. 【01・07・13・20】の4シーンは駅前花壇の状況とそこに設置してある案内板の有無を比較している。このうち花壇に花がたっぷりと植栽されていて手入れの良い No.01 (E=48.0%) だけが「5. 歓迎的」と評価された。No.20 (E=27.7%) にも花があるが、背後の案内板が錆びついていることが No.01 ほどには評価されなかった原因と考えられる。No.07 (E=5.8%) は駅前花壇が「雑草繁茂」、No.13 (E=5.3%) は「未植栽で土露出」で、しかも錆びついた案内板があるため「5. 歓迎的」とは評価されなかった。画像 No. 【04・10】では、No.10 (E=38.3%) では噴水が出ているのに対して No.04 (E=21.2%) では噴水が止まっていることが「5. 歓迎的」の評価を左右している。画像 No. 【08・16】に関しては、背景の山（ダイヤモンドヘッド）の有無にかかわらず両者ともに「5. 歓迎的」と評価された。これは海の水の清澄さに起因していると考えられる。画像 No.【09・15】は、駅前広場のシーンであるが交通島が花で覆われている No.09 (E=43.0%)の方が、そうでない No.15 (E=10.8%、アスファルト舗装) よりも「5. 歓迎的」と評価されやすいことを示している。

表5 提示した画像20シーンについて「あてはまる」と評価した人の割合(%)

画像No.→	24項目の「あてはまる」の選択者数% (着色セルは40%以上のものを表す)																			
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1. 親しみやすい	58.7	29.1	34.5	25.6	21.2	69.5	13.8	47.1	29.8	40.8	36.5	26.7	5.7	10.0	14.1	46.7	51.7	40.7	5.9	29.9
2. よそよそしい	6.0	7.1	14.0	21.1	19.0	3.0	15.3	5.9	15.1	8.5	7.3	19.8	30.0	18.8	22.1	3.9	4.4	5.2	43.2	9.9
3. もてなしを感じる	41.2	12.1	22.2	20.2	7.3	28.3	5.2	25.8	40.5	36.3	40.2	28.0	3.9	2.0	8.7	28.4	10.8	13.3	3.1	26.4
4. もてなしを感じない	10.6	17.2	25.7	15.3	25.2	7.7	40.6	6.9	9.1	6.3	5.2	13.5	60.4	55.0	25.9	5.7	14.4	11.3	39.1	21.7
5. 歓迎的	48.0	16.8	31.0	21.2	7.1	32.0	5.8	37.2	43.0	38.3	43.5	23.0	5.3	1.8	10.8	39.1	14.8	18.6	2.6	27.7
6. 拒絶的	3.3	10.2	6.4	5.6	14.8	1.8	13.2	1.7	4.7	3.1	2.4	11.5	33.1	27.6	10.2	1.6	3.9	3.9	35.5	11.2
7. 心がこもっている	46.6	11.0	12.2	14.7	11.7	48.6	5.0	13.5	33.8	23.5	24.1	29.9	2.8	1.7	6.7	17.8	12.4	11.7	3.7	23.0
8. 心がこもっていない	6.6	6.5	17.7	9.2	10.3	1.6	33.0	4.1	6.7	4.7	2.1	6.6	57.2	44.3	18.1	3.8	5.5	4.4	23.5	21.7
9. こころよい	56.0	52.3	14.0	37.3	20.1	56.3	7.8	56.7	33.1	46.8	49.6	30.9	3.0	1.7	11.8	55.5	52.8	57.6	6.4	18.0
10. 不快	3.4	2.2	6.4	2.0	3.8	1.0	15.1	1.3	10.8	1.6	1.8	4.4	43.8	34.8	6.1	1.4	2.4	1.8	9.7	21.5
11. 気持ちが落ち着く	41.5	58.3	17.3	31.8	18.3	57.5	8.6	43.9	18.9	37.0	44.4	21.3	3.5	3.8	10.5	44.4	60.3	58.1	6.3	14.8
12. 不安な気持ちになる	4.6	6.2	12.8	3.5	5.0	2.3	8.4	2.4	9.8	1.9	3.7	4.7	32.8	25.1	7.7	2.0	4.4	3.8	12.0	16.0
13. 広々している	27.3	70.2	17.7	57.8	16.8	48.3	11.8	78.5	39.5	58.1	61.3	17.5	13.6	9.6	40.2	73.2	57.9	80.5	13.6	13.6
14. 狭苦しい	8.3	3.2	13.8	3.6	14.2	2.0	12.1	1.2	3.9	1.6	2.3	10.8	12.5	28.2	4.7	1.4	2.8	1.2	18.0	8.7
15. 洗練されている	18.9	13.5	3.7	55.5	23.6	9.8	5.0	29.0	29.0	52.9	47.2	38.8	2.6	1.7	21.0	26.7	12.7	13.3	23.7	7.9
16. 洗練されていない	11.8	9.8	44.2	3.0	6.4	18.9	34.1	4.7	10.9	2.0	2.5	4.7	49.0	52.5	14.7	3.7	13.8	7.6	7.2	26.0
17. 気持ちが明るくなる	50.8	35.7	7.7	27.2	9.6	46.6	5.4	56.7	34.7	36.7	31.6	25.6	2.8	1.7	8.3	50.9	35.3	44.4	4.0	18.1
18. 気持ちが暗くなる	3.9	4.2	17.1	1.8	4.6	1.8	10.9	1.2	3.3	1.7	3.8	2.9	33.6	26.5	7.5	2.2	2.3	2.7	7.2	13.7
19. 新鮮な感じ	21.5	23.8	3.0	31.9	10.3	16.3	3.6	28.6	24.5	32.4	31.3	22.8	2.5	1.9	13.6	27.1	23.9	25.0	9.6	9.1
20. 古ぼけた感じ	12.2	7.3	70.8	2.6	7.9	23.1	23.1	2.7	4.6	1.8	3.1	2.5	49.4	61.6	9.7	2.6	12.5	4.0	4.2	34.0
21. 手入れの良い	63.7	15.7	7.6	65.6	59.6	56.5	12.7	33.1	59.4	63.5	34.6	65.8	5.3	1.7	34.8	32.5	25.8	18.1	42.5	25.4
22. 手入れの悪い	2.6	5.6	27.6	2.3	2.3	2.0	41.2	1.6	2.3	0.7	1.7	1.2	55.1	56.1	4.9	1.9	4.7	4.5	2.2	24.4
23. 美しい	54.6	64.9	5.0	45.9	27.3	53.3	5.5	64.9	43.6	50.8	66.7	41.7	2.6	1.4	16.5	63.3	54.3	65.4	15.7	20.4
24. きたない	1.5	1.7	14.9	1.3	2.0	1.3	18.8	1.0	3.9	0.8	1.4	1.2	43.7	47.7	3.6	1.7	2.0	1.2	2.4	22.0

4.1.2 シーンの種類 表5の結果を基にして20シーンの画像間の相関行列および画像間の距離(2-2*Rで計算)を求めた結果を表6に示す。またこの画像間の距離を基にして20シーンの画像をクラスター分析(ウォード法)にかけデンドログラム(樹形図)にした結果が図3である。図3のデンドログラムでは、主なクラスターに対して意味づけを試み、それを表記している。図の上側から順に見ていくと、画像 No.01, 06, 04, 10, 09, 12 は花や噴水を中心とした「近景」のシーンであるのに対し、画像 No.02, 18, 17, 08, 16, 11 はいずれも遠景の「眺望」が得られるシーン

であり、これらが集まって「歓迎的景観・良好な景観」のグループを作っていることが分かる。画像 No.05, 15, 19 はコンクリートやアスファルト面が目立つ「排他的要素を含む景観」として捉えることができる。

表 6 24 項目の評価結果に基づく画像間の相関行列と距離行列

画像No.	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
01	1.000	.604	-.098	.664	.538	.933	-.506	.778	.882	.834	.792	.808	-.779	-.748	.229	.808	.722	.656	-.154	.301
02	.793	1.000	-.169	.669	.320	.737	-.338	.911	.538	.707	.824	.417	-.532	-.530	.408	.905	.949	.988	-.121	-.123
03	2.196	2.337	1.000	-.365	-.253	.039	.479	-.202	-.257	-.292	-.252	-.385	.411	.550	-.090	-.195	-.056	-.164	-.306	.691
04	.671	.662	2.730	1.000	.750	.641	-.437	.795	.820	.942	.845	.852	-.671	-.705	.727	.786	.673	.689	.281	-.190
05	.924	1.360	2.505	.500	1.000	.489	-.128	.385	.595	.624	.425	.829	-.371	-.390	.692	.382	.400	.313	.652	-.033
06	.135	.525	1.922	.718	1.022	1.000	-.409	.821	.767	.788	.773	.669	-.686	-.632	.293	.844	.865	.785	-.216	.312
07	3.011	2.677	1.041	2.874	2.256	2.818	1.000	-.489	-.560	-.561	-.596	-.504	.865	.865	.085	-.510	-.321	-.374	.185	.350
08	.444	.178	2.404	.411	1.230	.359	2.979	1.000	.771	.885	.931	.605	-.711	-.708	.443	.997	.907	.950	-.160	-.030
09	.236	.924	2.515	.359	.810	.467	3.121	.458	1.000	.917	.841	.884	-.774	-.804	.473	.790	.575	.590	.023	.159
10	.331	.585	2.583	.116	.751	.424	3.122	.231	.166	1.000	.942	.860	-.807	-.815	.543	.893	.744	.750	.024	-.027
11	.416	.353	2.504	.310	1.150	.453	3.191	.139	.319	.117	1.000	.720	-.805	-.804	.409	.945	.808	.846	-.139	-.052
12	.384	1.166	2.771	.295	.341	.662	3.008	.790	.232	.280	.560	1.000	-.743	-.762	.484	.620	.485	.442	.312	-.013
13	3.557	3.063	1.177	3.341	2.742	3.372	.270	3.422	3.547	3.614	3.610	3.487	1.000	.953	-.101	-.735	-.573	-.579	.156	.235
14	3.496	3.060	.900	3.409	2.781	3.263	.270	3.416	3.607	3.629	3.608	3.523	.093	1.000	-.194	-.729	-.539	-.573	.037	.298
15	1.541	1.183	2.179	.546	.617	1.415	1.829	1.114	1.053	.913	1.182	1.031	2.203	2.389	1.000	.414	.381	.408	.608	-.105
16	.385	.189	2.389	.427	1.237	.312	3.021	.006	.419	.213	.110	.760	3.470	3.459	1.172	1.000	.907	.944	-.189	.001
17	.556	.103	2.113	.654	1.200	.270	2.643	.186	.851	.511	.385	1.031	3.146	3.077	1.239	.186	1.000	.964	-.166	.030
18	.687	.024	2.328	.621	1.375	.430	2.747	.100	.820	.500	.309	1.117	3.159	3.146	1.184	.111	.073	1.000	-.173	-.084
19	2.309	2.241	2.612	1.439	.697	2.432	1.629	2.319	1.955	1.952	2.279	1.376	1.688	1.926	.785	2.378	2.332	2.347	1.000	-.354
20	1.398	2.247	.618	2.381	2.065	1.376	1.300	2.060	1.683	2.055	2.105	2.027	1.531	1.405	2.210	1.997	1.940	2.169	2.707	1.000

対角行列を含む右上側…【画像間の相関行列】、対角行列の左下側…【画像間の距離=2-2×R】 24項目の「あてはまる」の選択者数%による (n=1030)

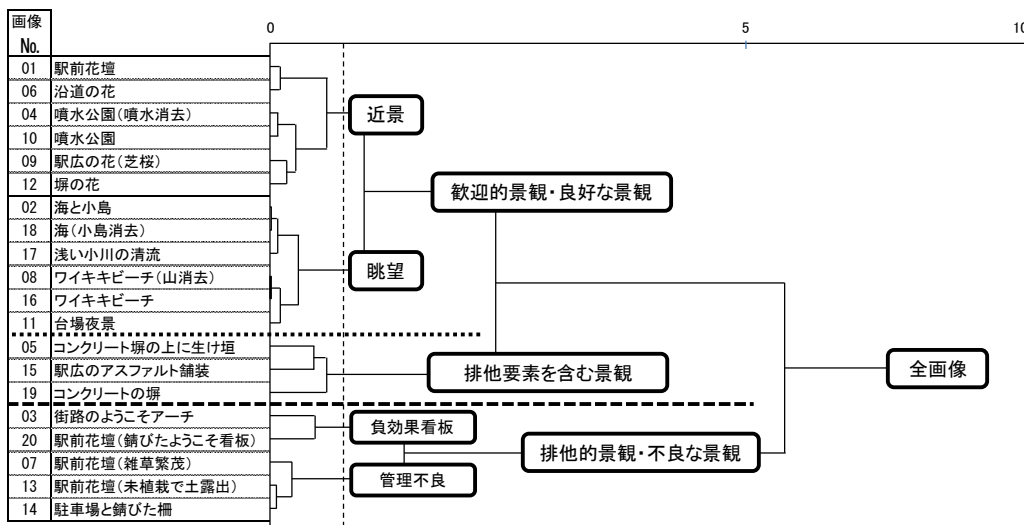


図 3 24 項目の評価結果に基づく 20 シーンのクラスター分析結果

一方、画像 No.03, 20 は錆びについてマイナスイメージをもたらす「負効果看板」や、画像 No. 07, 13, 14 のように雑草が茂った花壇や未植栽の花壇あるいは錆びた柵の見える駐車場など「管理不良」と言えるシーンのグループである。これら「負効果看板」や「管理不良」が集まって「排他

的景観・不良な景観」のグループを作り出している。従って、図3の細い横破線よりも上側のシーンが「歓迎的景観・良好な景観」として目指すべき方向性を示唆しているのに対し、太い横破線より下側のシーンは「排他的景観・不良な景観」として回避すべき方向であることを示していると言える。

4.1.3 評価項目の分類 表5の結果を基にして24の評価項目をシーンの分類と同様にしてクラスター分析（ウォード法）にかけデンドログラム（樹形図）にした結果が図4である。

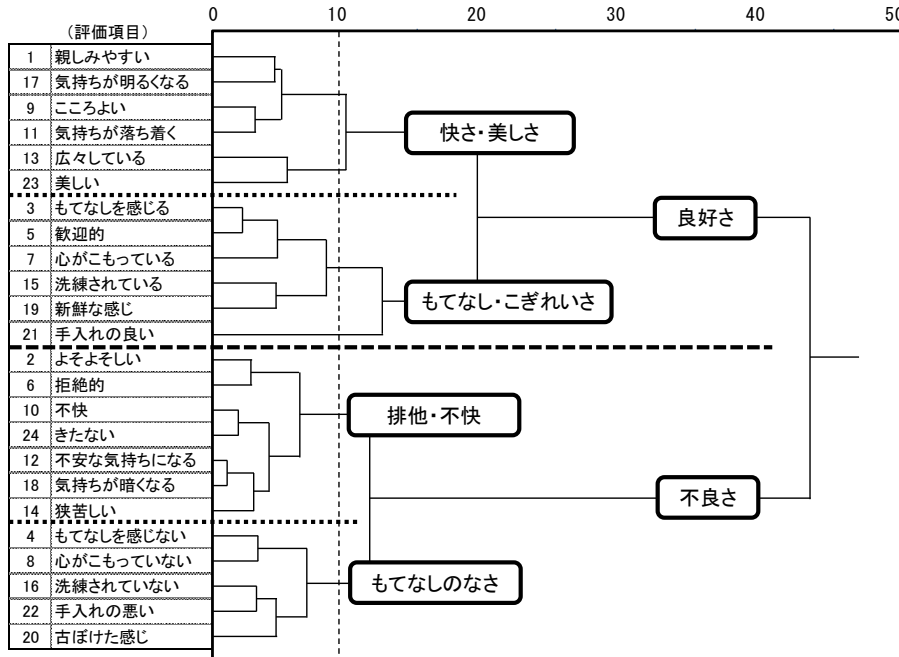


図4 20シーンの評価結果に基づく24評価項目のクラスター分析結果

図4のデンドログラムでも前項と同様に、主なクラスターに対して意味づけを試みてそれを表記している。図の上側から順に見ていくと、評価項目No.1, 17, 9, 11, 13, 23が「快さ・美しさ」を表す項目のグループであり、評価項目No.3, 5, 7, 15, 19, 21が「もてなし・こざれいさ」を表す項目のグループと解釈できよう。これらの両者が集まって「良好さ」を表す項目のグループとして集約できる。一方、評価項目No.2, 6, 10, 24, 12, 18, 14はよそよそしいやきたないといった表現に代表されるように「排他・不快」を表す項目のグループであり、評価項目No.4, 8, 16, 22, 20は「もてなしのなさ」を表す項目のグループと解釈できる。これらの両者が集まって「不良さ」を表す項目のグループとなる。

図4において、太い横破線より上側の評価項目は、良好で歓迎的な景観をもたらす上で重視すべき事項であるのに対し、この破線より下側の評価項目は良好で歓迎的な景観をもたらす上で回避すべき事項であることを表していると言える。

4.2 アンケート②の結果の分析と考察

4.2.1 評価結果と考察 表7は1030人の回答者による、旅行先や訪問先で想定される歓迎を感じる（感じない）眺め45種類を表す語句と、それぞれについて「感じる」、「経験なし」、「感じない」の選択者比率（%）を表している。各項目のNo. は、アンケートに掲載した順序を表しており、この表では「感じる」と評価した回答者数が多い項目から順に並べ替えてある。

表7 旅行先や訪問先で「歓迎」を感じる眺めとその選択者比率

★あなたは旅行先や訪問先で以下の眺めに出会ったとき、歓迎されているように感じますか。					(%)	n = 1030
No.	想定した眺め	① 感じる	② 経験なし	③ 感じない	差 ①-③	特徴
35	手入れの良い庭	84.2	7.7	8.2	76.0	手入れ
13	自然に咲いた花畑(例:高山・原野・湿原などのお花畑など)	78.7	9.2	12.0	66.7	花
33	満開の桜の並木道	77.7	9.5	12.8	64.9	花
15	新緑(春の若葉)	76.9	9.9	13.2	63.7	新緑
11	人が植えて咲いた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	76.1	10.8	13.1	63.0	花
16	紅葉(黄葉も含む)	76.1	9.6	14.3	61.8	紅葉
23	門前や玄関先の清掃	75.8	9.9	14.3	61.6	手入れ
32	新緑の並木道	75.7	10.0	14.3	61.5	新緑
21	玄関先に植えられた花	75.0	10.5	14.6	60.4	花
18	透明な水の川(清流)	74.8	10.8	14.5	60.3	清潔な水
25	「ようこそ」や「歓迎」と書かれている観光地の大型看板	70.2	7.4	22.4	47.8	歓迎看板
20	窓辺を飾る花	69.6	12.2	18.2	51.5	花
39	野の花	68.1	12.9	19.0	49.0	花
17	食べられる実のなっている果樹(リンゴ、みかん、ぶどう、柿など)	67.3	13.2	19.5	47.8	果実
9	透明な水の海	66.9	15.5	17.6	49.3	清潔な水
44	大きな鳥居(とりい)	66.7	12.1	21.2	45.5	ランドマーク
7	透明な水の湖	64.7	18.3	17.0	47.7	清潔な水
37	手入れの良い農地	63.5	15.6	20.9	42.6	手入れ
43	特徴がきわだった塔(タワー・五重塔など)	63.4	13.3	23.3	40.1	ランドマーク
40	道ばたの花	63.3	12.8	23.9	39.4	花
22	玄関先の打ち水	58.9	15.6	25.4	33.5	手入れ
41	特徴がきわだった橋	58.7	18.4	22.8	35.9	ランドマーク
42	特徴がきわだった建築	55.8	17.0	27.2	28.6	ランドマーク
2	特徴がきわだった巨樹(大きな木)	55.4	24.9	19.7	35.7	ランドマーク
1	特徴がきわだった山	52.0	25.2	22.7	29.3	ランドマーク
3	海上の島	49.2	24.3	26.5	22.7	
45	港の大型船	48.6	19.8	31.6	17.1	
30	外から中が見える低い生け垣(植物による垣根)	45.6	18.4	35.9	9.7	
4	湖の中の島	36.6	33.7	29.7	6.9	
31	外から中が見える柵	35.3	21.2	43.5	-8.2	
5	川の中の島	25.0	41.5	33.5	-8.4	
6	川の中州	23.8	35.3	40.9	-17.1	
27	「ようこそ」や「歓迎」と書かれている汚れた観光地の大型看板	22.7	11.4	65.9	-43.2	汚れた歓迎看板
14	枯れた自然の花畑(例:高山・原野・湿原などのお花畑など)	16.9	17.2	65.9	-49.0	枯れた花
26	「ようこそ」や「歓迎」と書かれている錆びついた観光地の大型看板	15.1	11.6	73.3	-58.2	錆びた歓迎看板
12	人が植えて枯れた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	14.3	15.6	70.1	-55.8	枯れた花
34	枯れ木の並木道	13.0	16.6	70.4	-57.4	枯れた並木
29	外から中が見えない高い生け垣(植物による垣根)	11.6	18.4	70.0	-58.4	高生け垣
28	外から中が見えない垂直のコンクリート・ブロック塀(へい)	4.7	15.8	79.5	-74.9	コンクリート塀
24	門前や玄関先の汚れやゴミの放置	4.4	11.7	83.9	-79.5	門前の汚れやゴミ
19	濁った水の川	4.0	15.8	80.2	-76.2	濁った水
10	濁った水の海	3.6	18.6	77.8	-74.2	濁った水
8	濁った水の湖	3.2	21.0	75.8	-72.6	濁った水
38	手入れの悪い農地	2.5	21.1	76.4	-73.9	手入れの悪さ
36	手入れの悪い庭	2.0	15.2	82.7	-80.7	手入れの悪さ

最も歓迎を感じさせる眺めは「35 手入れの良い庭」であり、次いで「13 自然に咲いた花畑(例:高山・原野・湿原などのお花畑など)」、「33 満開の桜の並木道」、「15 新緑(春の若葉)」、「11 人

が植えて咲いた花畑（農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む）、「16 紅葉（黄葉も含む）」が続く。いずれも花や自然の草木がもたらす季節毎の美しさを歓迎と感じる人が多い。さらに「23 門前や玄関先の清掃」、「32 新緑の並木道」、「21 玄関先に植えられた花」、「18 透明な水の川（清流）」なども歓迎を感じさせる眺めの上位を占めている。

次いで「25 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている観光地の大型看板」が比較的上位に現れるが、その一方で「27 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている汚れた観光地の大型看板」は逆に歓迎を感じさせない眺めとして評価されている。つまり、観光地の歓迎看板は汚れていると台無しになることを示唆しており、このような看板は設置しない方が良いと言える。

これらに次いで花を伴う眺めの「20 窓辺を飾る花」、「39 野の花」、「40 道ばたの花」や、清澄な水の眺めである「9 透明な水の海」、「7 透明な水の湖」が歓迎を感じさせる眺めとして続き、さらに「44 大きな鳥居」、「43 特徴がきわだった塔（タワー・五重塔など）」、「41 特徴がきわだった橋」、「42 特徴がきわだった建築」、「2 特徴がきわだった巨樹」、「1 特徴がきわだった山」などのランドマークも歓迎を 50～60%の人に感じさせるものとなっている。

これらに反して、歓迎を感じさせない眺めとして、「36 手入れの悪い庭」、「38 手入れの悪い農地」、「8 濁った水の湖」、「10 濁った水の海」、「19 濁った水の川」、「24 門前や玄関先の汚れやゴミの放置」、「28 外から中が見えない垂直のコンクリート・ブロック塀」、「29 外から中が見えない高い生け垣（植物による垣根）」、「34 枯れ木の並木道」、「12 人が植えて枯れた花畑（農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む）」、「26 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている錆びついた観光地の大型看板」、「14 枯れた自然の花畑（例：高山・原野・湿原などのお花畑など）」、「27 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている汚れた観光地の大型看板」が多く選択されている。これらの歓迎を感じさせない眺めの多くは、手入れの悪さや維持管理が行き届かない状況と関連しており、親しみにくい排他的な景観ともなることから、極力回避すべき事項であると言える。

ただし、「29 外から中が見えない高い生け垣（植物による垣根）」は、文化的景観としての価値を有する場合もあるので単純に排除すべきではない。また、「14 枯れた自然の花畑（例：高山・原野・湿原などのお花畑など）」や「34 枯れ木の並木道」に関しては、季節変化の一部であることから、やはり単純に排除すべきではないと言える。

以上の結果は、序で示した仮説「多様な空間表現によって来訪者を歓迎することが可能であり、その効果の大きさは空間表現の内容によって優劣がある」を支持するものであった。さらに表 7 はそれらの歓迎を感じさせる効果の優劣関係も表している。

表 7 に基づいて、想定した眺めや空間表現（以降、空間表現と記す）を表す 45 個の語句を横軸に並べ、歓迎を「感じる」、「経験なし」、「感じない」と回答した人の割合（%）を縦軸にとって図化したものが図 5 である。歓迎を「感じる」人の割合を“●”でプロットし、「感じない」人の割合を“■”でプロットし、それらを折れ線でつないで表示している。図の横軸に記載されている空間表現は、左寄りになるほど歓迎を感じさせやすく、反対に右寄りのものほど歓迎が感じられにくいものとなっている。

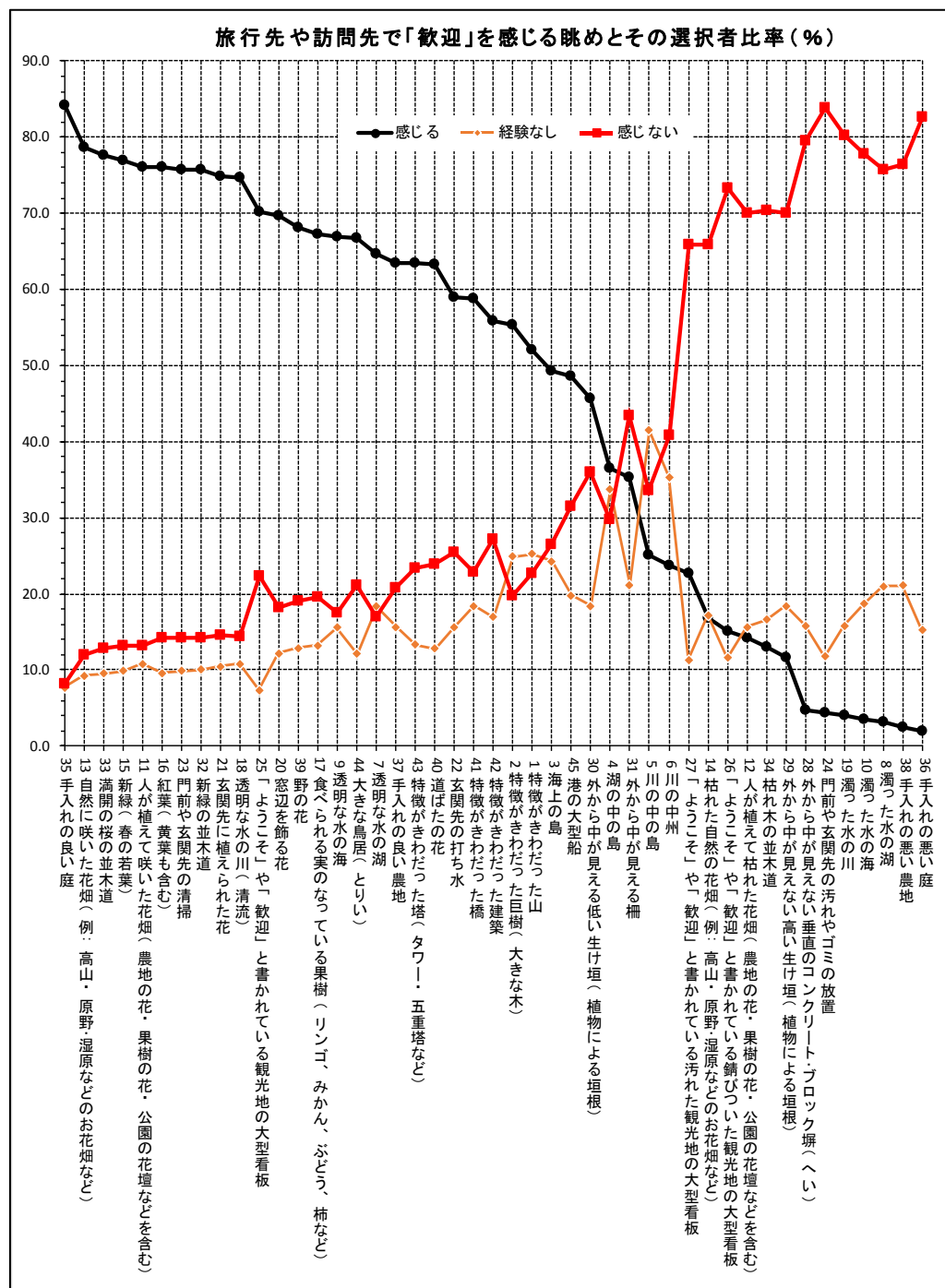


図5 歓迎を「感じる」・「経験なし」・「感じない」と回答した人の割合 (%)

歓迎を「感じる」の折れ線と、「感じない」の折れ線とが交わる辺りに位置する空間表現として、「30 外から中が見える低い生け垣（植物による垣根）」、「4 湖の中の島」、「31 外から中が見える柵」、「5 川の中の島」があり、これらは歓迎を感じる人の割合と感じない人の割合との差が10%未満となった眺めを表す語句である。これらは、歓迎を感じる人の割合と感じない人の割合とが拮抗しており、常に歓迎を感じさせる空間表現とは言えない。なお、両者が拮抗している部分においては、「感じる」でも「感じない」でもない「経験なし」の比率が高まっていることが分かる。

一方、図の左端（または表 7 の上端）の「35 手入れの良い庭」を最上位として「1 特徴がきわだった山」までの 25 項目の眺めに関しては、50%以上の人が歓迎を感じる空間表現であると言える。逆に、図の右端（または表 7 の下端）から「36 手入れの悪い庭」を最上位として「27 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている汚れた観光地の大形看板」までの 13 項目の眺めに関しては、50%以上の人が歓迎を感じられない空間表現であると言える。

4.2.2 歓迎を感じる眺めとその選択者比率の男女差 表 8 は旅行先や訪問先で歓迎を感じる眺めとその選択者比率（歓迎印象感度とも言える）の男女差についての z 検定による検定結果である。

表 7 より、女性の方が歓迎に関しての感度が高い傾向がみられる。歓迎を「感じる」の選択者比率に男女で有意差が認められた 24 項目の選択者比率（%）の差の平均値は 10.1%であった。つまり、多様な眺めにおいて女性の方が男性よりも歓迎を感じる比率が約 10%高くなる傾向が認められる。

男女で歓迎を感じる比率に関して、全 45 項目の選択者比率を使って散布図を描いた結果を図 6 に示す。男女の歓迎に対する感度は女性のほうが高いものの、45 種類の眺めの項目の「感じる」、「感じない」の選択者比率には、男女間で極めて高い直線的な関係が認められた。さらに男女での 45 項目の「感じる」の選択者比率を元に各項目の順位に着目し、男女間の順位相関係数（スピアマンの順位相関係数 ρ ）を求めたところ、 $\rho=0.9907$ となり、「感じる」の序列にもきわめて強い相関関係が認められた。つまり、各種の眺め、すなわち空間表現がもたらす歓迎の感じ方の序列は、男女で大きな違いは無く、その感度だけが異なっていると言える。

4.2.3 歓迎を感じる眺めとその選択者比率の景観関心の有無による差 表 9 は旅行先や訪問先で歓迎を感じる眺めとその選択者比率（歓迎印象感度）の景観関心の有無による差に関して z 検定による検定を試みた結果である。

表 9 より、景観に関心のある人の方が歓迎に関しての感度が高い傾向がみられ、歓迎を「感じる」の選択者比率において景観関心の有無で有意差が認められた 36 項目の選択者比率（%）の差の平均値は 31.0%であった。つまり、多様な眺めにおいて景観への関心の高い人の方が関心の低い人よりも歓迎を感じる感度が圧倒的に高いといえる。

表 8 旅行先や訪問先で「歓迎」を感じる眺めとその選択者比率の男女差の検定結果

■性別と歓迎印象感度との関係

★あなたは旅行先や訪問先で以下の眺めに出会ったとき、歓迎されているように感じますか。(感じる／経験なし／感じない)

No.	想定した眺め (③の選択比率の高い方から降順に記載)	●男 n = 529 (%)				●女 n = 501 (%)				** p < .01 * p < .05	
		①感じる	②経験なし	③感じる	④感じる	①感じる	②経験なし	③感じる	④感じる	「感じる」について	「感じない」について
35	手入れの良い庭	79.4	10.2	10.4	89.2	5.8	**	**	**		
13	自然に咲いた花畑(例:高山・原野・温泉などのお花畑など)	74.1	11.0	14.9	83.6	7.4	9.0	**	**		
33	満開の桜の並木道	72.4	11.2	16.4	83.2	7.8	9.0	**	**		
15	新緑(春の若葉)	71.1	12.1	16.8	83.0	7.6	9.4	**	**		
11	人が植えて咲いた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	70.1	12.9	17.0	82.4	8.6	9.0	**	**		
21	玄関先に植えられた花	68.1	12.7	19.3	82.2	8.2	9.6	**	**		
23	門前や玄関先の清掃	69.9	11.7	18.3	82.0	8.0	10.0	**	**		
32	新緑の並木道	70.3	11.7	18.0	81.4	8.2	10.4	**	**		
16	紅葉(黄葉も含む)	71.3	11.2	17.6	81.2	8.0	10.8	**	**		
18	透明な水の川(清流)	69.8	12.5	17.8	80.0	9.0	11.0	**	**		
20	窓辺を飾る花	62.6	14.4	23.1	77.0	10.0	13.0	**	**		
25	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている観光地の大型看板	64.1	9.5	26.5	76.6	5.2	18.2	**	**		
39	野の花	63.9	14.9	21.2	72.5	10.8	16.8	**	**		
44	大きな鳥居(とり)	61.4	14.6	24.0	72.3	9.6	18.2	**	*		
17	食べられる実のなっている果樹(リンゴ、みかん、ぶどう、柿など)	62.9	14.4	22.7	71.9	12.0	16.2	**	**		
9	透明な水の海	62.9	14.9	22.1	71.1	16.2	12.8	**	**		
43	特徴がきわだった塔(タワー・五重塔など)	58.0	15.3	26.7	69.1	11.2	19.8	**	**		
7	透明な水の湖	61.4	18.0	20.6	68.1	18.8	13.2	*	*		
37	手入れの良い農地	59.5	16.3	24.2	67.7	15.0	17.4	**	**		
40	道ばたの花	59.4	15.7	25.0	67.5	9.8	22.8	**	*		
41	特徴がきわだった橋	54.6	19.3	26.1	63.1	17.6	19.4	**	*		
42	特徴がきわだった建築	50.5	18.9	30.6	61.5	15.0	23.6	**	*		
22	玄関先の打ち水	57.7	14.0	28.4	60.3	17.4	22.4	*	*		
2	特徴がきわだった巨樹(大きな木)	51.6	24.8	23.6	59.5	25.0	15.6	*	**		
1	特徴がきわだった山	51.4	22.7	25.9	52.7	27.9	19.4	*	*		
45	港の大型船	46.1	18.9	35.0	51.3	20.8	27.9	*	*		
3	海上の島	47.8	24.0	28.2	50.7	24.6	24.8	*	*		
30	外から中が見える低い生け垣(植物による垣根)	42.3	18.7	38.9	49.1	18.2	32.7	*	*		
31	外から中が見える柵	34.2	20.2	45.6	36.5	22.2	41.3	*	*		
4	湖の中の島	37.6	30.4	31.9	35.5	37.1	27.3	*	*		
5	川の中の島	25.5	37.6	36.9	24.6	45.5	29.9	*	*		
6	川の中州	24.2	32.9	42.9	23.4	37.9	38.7	*	*		
27	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている隠れた観光地の大型看板	22.5	13.0	64.5	23.0	9.6	67.5	*	*		
26	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている錆びついた観光地の大型看板	14.6	13.6	71.8	15.8	9.4	74.9	*	*		
14	枯れた自然の花畑(例:高山・原野・温泉などのお花畑など)	18.7	18.3	62.9	15.0	16.0	69.1	*	*		
29	外から中が見えない高い生け垣(植物による垣根)	9.8	18.9	71.3	13.4	18.0	68.7	*	*		
34	枯れた木の並木道	13.6	16.1	70.3	12.4	17.2	70.5	*	*		
12	人が植えて枯れた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	16.3	17.8	66.0	12.2	13.4	74.5	*	**		
28	外から中が見えない垂直の窓(クリート・ブロック塀(へい))	4.5	17.2	78.3	4.8	14.4	80.8	*	*		
24	門前や玄関先の汚れやゴミの放置	4.5	13.2	82.2	4.2	10.2	85.6	*	*		
10	濁った水の海	3.2	18.9	77.9	4.0	18.4	77.6	*	*		
19	濁った水の川	4.2	16.8	79.0	3.8	14.8	81.4	*	*		
8	濁った水の湖	3.2	20.0	76.7	3.2	22.0	74.9	*	*		
38	手入れの悪い農地	3.4	19.3	77.3	1.6	23.0	75.4	*	*		
36	手入れの悪い庭	2.8	15.1	82.0	1.2	15.4	83.4	*	*		

太枠部分は、 $p < 0.05$ で有意差が認められ、①<③のものと②>④のもの。

①と③の相関係数 $R = 0.99585$

$R^2 = 0.99172$

②と④の相関係数 $R = 0.99581$

$R^2 = 0.99164$

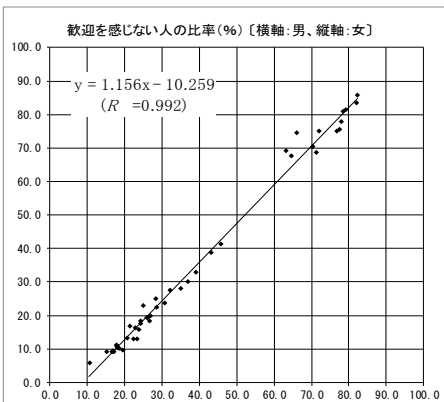
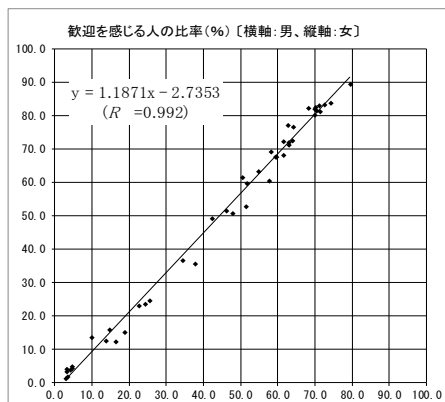


図 6 45 項目の眺めについての「歓迎」を感じる(感じない)比率の男女の相関

景観関心の有無で歓迎を感じる比率に関して、全 45 項目の選択者比率を使って散布図を描いた結果を図 7 に示す。両者の間の相関係数が比較的高いが、男女の比較で見られたような明快な直線ではなくやや曲線的なプロットとなった。さらに景観関心の有無による 45 項目の「感じる」の選択者比率を元に各項目の順位に着目し、景観関心の有無間での順位相関係数を求めたところ、 $\rho=0.9708$ となり、「感じる」の序列にも強い相関関係が認められた。

従って景観関心の有無によって歓迎を感じる感度は大きく異なるが、45 項目で示した眺めや空間表現に対する歓迎の感じ方の序列は、大きく異なるものではないということが確認された。

4.2.4 歓迎を感じる眺めとその選択者比率の風景写真撮影の好みによる差 表 10 は旅行先や訪問先で歓迎を感じる眺めとその選択者比率（歓迎印象感度）の風景写真撮影の好みによる差に関しての z 検定による検定結果である。

表 10 より、風景写真撮影を好む人の方が歓迎に関しての感度が高い傾向がみられ、歓迎を「感じる」の選択者比率において風景写真撮影の好みで有意差が認められた 38 項目の選択者比率(%)の差の平均値は 16.1%であった。つまり、多様な眺めにおいて風景写真撮影を好む人の方がその他の人よりも歓迎を感じる感度が高いといえる。

風景写真撮影の好みの有無で歓迎を感じる比率に関して、全 45 項目の選択者比率を使って散布図を描いた結果を図 8 に示す。両者の間の相関係数がかなり高く、男女の比較で見られた図 6 のような直線的なプロットとなった。さらに風景写真撮影の好みの有無による 45 項目の「感じる」の選択者比率を元に各項目の順位に着目し、風景写真撮影の好みの有無間での順位相関係数を求めたところ、 $\rho=0.9858$ となり、「感じる」の序列にも強い相関関係が認められた。

従って風景写真撮影の好みの有無によって歓迎を感じる感度は大きく異なるが、45 項目で示した眺めや空間表現に対する歓迎の感じ方の序列は、大きく異なるものではないということが確認された。

4.2.5 歓迎を感じる眺めとその選択者比率の居住地環境の相違による差 表 11 は旅行先や訪問先で歓迎を感じる眺めとその選択者比率（歓迎印象感度）の居住地環境の相違による差に関しての z 検定による検定結果である。

表 11 より、居住地環境が市街地（建物が密集）の人の方がその他（緑地の多い環境に住む人）よりも歓迎に関しての感度がわずかに低い傾向が見られたが、統計的検定の結果「感じる」に関して有意差が確認できたのは、「33 満開の桜の並木道」、「11 人が植えて咲いた花畑（農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む）」、「29 外から中が見えない高い生け垣（植物による垣根）」の 3 項目のみであった。また「感じない」に関して有意差が確認できたのは、「25 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている観光地の大型看板」、「5 川の中の島」、「6 川の中州」、「26 “ようこそ” や “歓迎” と書かれている錆びついた観光地の大型看板」、「29 外から中が見えない高い生け垣（植物による垣根）」の 6 項目に限られた。表 8～10 で示した性別、風景関心の有無、風景写真撮影好きか否かでは、多くの項目で有意差が認められたが、居住地環境が市街地か否かに関しては、総じて有意差が認められる項目は少数に限られることが分かった。

表 9 旅行先や訪問先で「歓迎」を感じる眺めとその選択者比率の景観関心の有無による差の検定結果

■良好な景観（風景）への関心度と歓迎印象感度との関係

★あなたは旅行先や訪問先で以下の眺めに出会ったとき、歓迎されているように感じますか。（感じる／経験なし／感じない）

★あなたは良好な景観（風景）に関して、どの程度の関心をお持ちですか。
0～10点（10点満点）でお答えください。
（0：まったく関心がない、5：どちらとも言えない、10：大いに関心がある）

** $p < 0.01$
* $p < 0.05$

No.	想定した眺め	●景観関心あり $n=724$ (6点以上)		●その他 $n=306$ (5点以下)		「感じる」 について	「感じない」 について
		①感じる	②経験なし	③感じる	④経験なし		
35	手入れの良い庭	92.8	2.6	4.6	63.7	19.6	16.7
33	満開の桜の並木道	89.8	4.0	6.2	49.0	22.5	28.4
13	自然に咲いた花畑〔例：高山・原野・温原などのお花畑など〕	89.0	4.0	7.0	54.6	21.6	23.9
32	新緑の並木道	88.4	4.4	7.2	45.8	23.2	31.0
15	新緑（春の若葉）	87.8	4.4	7.7	51.0	22.9	26.1
11	人が植えて咲いた花畑〔農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む〕	87.2	5.2	7.6	50.0	23.9	26.1
16	紅葉（黄葉も含む）	86.7	4.6	8.7	51.0	21.6	27.5
21	玄関先に植えられた花	86.2	5.2	8.6	48.4	22.9	28.8
23	門前や玄関先の清掃	86.2	5.0	8.8	51.3	21.6	27.1
18	透明な水の川（清流）	85.9	5.5	8.6	48.4	23.2	28.4
20	窓辺を飾る花	80.4	7.0	12.6	44.1	24.5	31.4
39	野の花	79.0	7.6	13.4	42.2	25.5	32.4
9	透明な水の海	78.3	9.7	12.0	39.9	29.4	30.7
44	大きな鳥居（とりい）	78.2	6.9	14.9	39.5	24.5	35.9
17	食べられる実のなっている果樹〔リンゴ、みかん、ぶどう、柿など〕	77.6	7.5	14.9	42.8	26.8	30.4
25	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている観光地の大型看板	76.4	2.8	20.9	55.6	18.3	26.1
43	特徴がきわだった塔〔タワー・五重塔など〕	76.0	6.8	17.3	33.7	28.8	37.6
7	透明な水の湖	75.3	12.6	12.2	39.5	32.0	28.4
40	道ばたの花	75.1	7.9	17.0	35.3	24.5	40.2
37	手入れの良い農地	74.6	11.0	14.4	37.3	26.5	36.3
41	特徴がきわだった橋	69.8	13.5	16.7	32.7	30.1	37.3
22	玄関先の打ち水	68.9	10.9	20.2	35.3	26.8	37.9
42	特徴がきわだった建築	67.1	11.7	21.1	29.1	29.4	41.5
2	特徴がきわだった巨樹〔大きな木〕	66.0	19.3	14.6	30.4	37.9	31.7
1	特徴がきわだった山	62.0	20.7	17.3	28.4	35.9	35.6
3	海上の島	59.5	18.4	22.1	24.8	38.2	36.9
45	港の大型船	58.6	15.9	25.6	25.2	29.1	45.8
30	外から中が見える低い生け垣（植物による垣根）	55.9	13.7	30.4	21.2	29.7	49.0
4	湖の中の島	44.8	29.0	26.2	17.3	44.8	37.9
31	外から中が見える柵	43.0	18.1	39.0	17.3	28.4	54.2
5	川の中の島	30.4	39.1	30.5	12.4	47.1	40.5
6	川の中州	29.3	31.2	39.5	10.8	45.1	44.1
27	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている汚れた観光地の大型看板	22.9	7.7	69.3	22.2	19.9	57.8
14	枯れた自然の花畑〔例：高山・原野・温原などのお花畑など〕	18.9	11.2	69.9	12.1	31.4	56.5
12	人が植えて枯れた花畑〔農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む〕	15.1	10.5	74.4	12.4	27.8	59.8
26	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている錆びついた観光地の大型看板	15.1	6.9	78.0	15.4	22.5	62.1
34	枯れ木の並木道	15.1	12.0	72.9	8.2	27.5	64.4
29	外から中が見えない高い生け垣（植物による垣根）	13.7	14.1	72.2	6.5	28.8	64.7
28	外から中が見えない垂直の目隠り・ブロック塀（へい）	4.4	11.3	84.3	5.2	26.5	68.3
24	門前や玄関先の汚れやゴミの放置	4.3	7.5	88.3	4.6	21.9	73.5
10	濁った水の海	3.9	13.1	83.0	2.9	31.7	65.4
19	濁った水の川	3.7	11.2	85.1	4.6	26.8	68.6
8	濁った水の湖	3.3	16.2	80.5	2.9	32.4	64.7
8	手入れの悪い農地	1.8	17.4	80.8	4.2	29.7	66.0
36	手入れの悪い庭	1.5	10.4	88.1	3.3	26.8	69.9

太枠部分は、 $p < 0.05$ で有意差が認められ、①>③のものと②<④のもの。

①と③の相関係数 $R = 0.9547$ $R^2 = 0.9114$

②と④の相関係数 $R = 0.9675$ $R^2 = 0.9360$

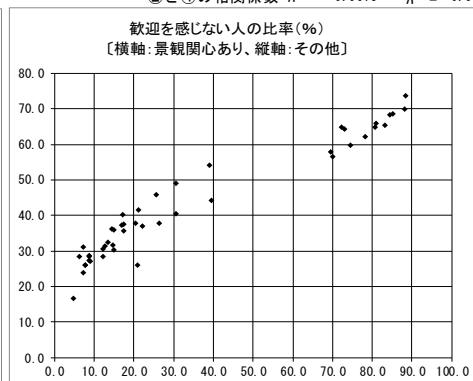
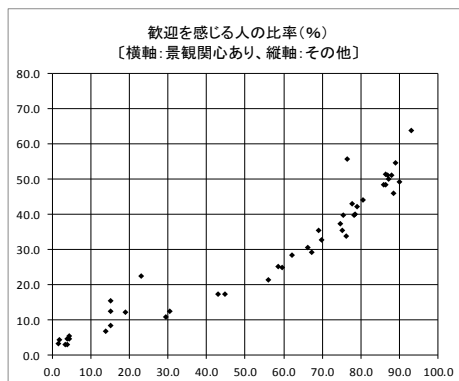


図 7 45 項目の眺めについての「歓迎」を感じる（感じない）比率の景観関心の有無の相関

表 10 旅行先や訪問先で「歓迎」を感じる眺めとその選択比率の風景写真撮影の有無による差の検定結果

■風景写真撮影が好きか否かと歓迎印象感度との関係		★あなたは風景写真を撮影することが好きですか？（スマホでの撮影を含みます）（1:はい 2:どちらとも言えない 3:いいえ）						** p < 0.01 * p < 0.05	
★あなたは旅行先や訪問先で以下の眺めに出会ったとき、歓迎されているように感じますか。（感じる／経験なし／感じない）		●風景写真 n=472 撮影好き（はい） (%)			●その他 n=558 (どちらとも/いいえ) (%)			「感じる」 についての	「感じない」 についての
No.	想定した眺め	①感じる	②経験なし	③感じる	④経験なし	⑤感じる	⑥感じない	有意差	有意差
35	手入れの良い庭	90.7	4.0	5.3	78.7	10.8	10.6	**	**
13	自然に咲いた花畑(例:高山・原野・豊原などのお花畑など)	88.6	4.9	6.6	70.4	12.9	16.7	**	**
33	満開の桜の並木道	88.6	4.4	7.0	68.5	13.8	17.7	**	**
15	新緑(春の若葉)	88.1	3.8	8.1	67.4	15.1	17.6	**	**
16	紅葉(黄葉も含む)	87.1	4.4	8.5	66.8	14.0	19.2	**	**
32	新緑の並木道	87.1	4.7	8.3	66.1	14.5	19.4	**	**
11	人が植えて咲いた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	85.0	5.9	9.1	68.6	14.9	16.5	**	**
18	透明な水の川(清流)	85.0	5.7	9.3	66.1	15.1	18.8	**	**
23	門前や玄関先の清掃	84.1	6.1	9.7	68.8	13.1	18.1	**	**
21	玄関先に植えられた花	83.3	6.8	10.0	67.9	13.6	18.5	**	**
39	野の花	79.4	7.2	13.3	58.4	17.7	23.8	**	**
20	窓辺を飾る花	79.2	8.1	12.7	61.5	15.8	22.8	**	**
44	大きな鳥居(とり)	78.2	7.0	14.8	57.0	16.5	26.5	**	**
17	食べられる実のなっている果樹(リンゴ、みかん、ぶどう、柿など)	78.0	7.0	15.0	58.2	18.5	23.3	**	**
25	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている観光地の大型看板	77.3	2.5	20.1	64.2	11.5	24.4	**	**
43	特徴がきわだった塔(タワー・五重塔など)	76.5	6.4	17.2	52.3	19.2	28.5	**	**
9	透明な水の海	76.3	10.6	13.1	59.0	19.7	21.3	**	**
37	手入れの良い農地	75.0	10.2	14.8	53.8	20.3	26.0	**	**
40	道ばたの花	75.0	7.4	17.6	53.4	17.4	29.2	**	**
7	透明な水の湖	74.6	12.3	13.1	56.3	23.5	20.3	**	**
41	特徴がきわだった橋	71.6	11.7	16.7	47.8	24.2	28.0	**	**
42	特徴がきわだった建築	69.1	10.0	21.0	44.6	22.9	32.4	**	**
22	玄関先の打ち水	66.5	11.9	21.6	52.5	18.8	28.7	**	**
2	特徴がきわだった巨樹(大きな木)	66.3	18.2	15.5	46.2	30.5	23.3	**	**
1	特徴がきわだった山	62.9	16.9	20.1	42.8	32.3	24.9	**	**
3	海上の島	61.7	14.8	23.5	38.7	32.3	29.0	**	*
45	港の大型船	60.4	14.6	25.0	38.7	24.2	37.1	**	**
30	外から中が見える低い生け垣(植物による垣根)	54.2	15.0	30.7	38.4	21.3	40.3	**	**
4	湖の中の島	44.9	27.8	27.3	29.6	38.7	31.7	**	**
31	外から中が見える柵	42.6	17.8	39.6	29.2	24.0	46.8	**	*
5	川の中の島	30.9	36.4	32.6	20.1	45.7	34.2	**	**
6	川の中州	28.0	31.8	40.3	20.3	38.4	41.4	**	**
27	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている隠れた観光地の大型看板	24.2	7.2	68.6	21.5	14.9	63.6		
14	枯れた自然の花畑(例:高山・原野・豊原などのお花畑など)	19.7	12.5	67.8	14.5	21.1	64.3	*	
34	枯れ木の並木道	17.4	12.3	70.3	9.3	20.3	70.4	**	
26	「ようこそ」や「歓迎」が書かれている錆びついた観光地の大型看板	16.5	6.8	76.7	14.0	15.6	70.4		*
29	外から中が見えない高い生け垣(植物による垣根)	16.1	12.9	71.0	7.7	23.1	69.2	**	
12	人が植えて枯れた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	15.3	10.8	73.9	13.4	19.7	66.8		*
28	外から中が見えない垂直のコンクリート・ブロック塀(へい)	5.9	10.0	84.1	3.6	20.8	75.6	**	**
24	門前や玄関先の汚れやゴミの放置	5.7	7.0	87.3	3.2	15.8	81.0	**	**
19	濁った水の川	5.3	10.8	83.9	2.9	20.1	77.1	*	**
10	濁った水の海	4.9	13.1	82.0	2.5	23.3	74.2	*	**
8	濁った水の湖	4.7	15.5	79.9	2.0	25.6	72.4	*	**
38	手入れの悪い農地	2.8	18.9	78.4	2.3	22.9	74.7		
36	手入れの悪い庭	2.3	11.9	85.8	1.8	18.1	80.1		

太枠部分は、 $p < 0.05$ で有意差が認められ、①>③のもの②<④のもの。

①と③の相関係数 $R = 0.9890$

$R^2 = 0.9781$

②と④の相関係数 $R = 0.9942$

$R^2 = 0.9885$

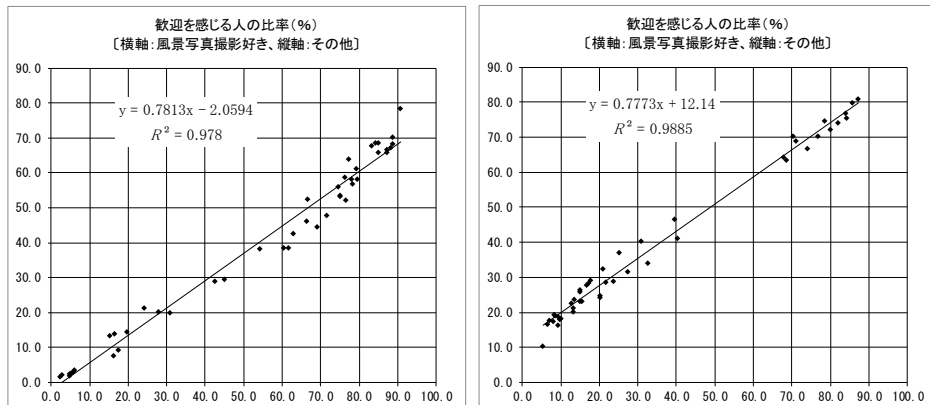


図 8 45 項目の眺めについての「歓迎」を感じる(感じない)比率の風景写真撮影好きか否かの相関

表 11 旅行先や訪問先で「歓迎」を感じる眺めとその選択者比率の居住地環境の相違による差の検定結果

■居住地環境と歓迎印象感度との関係		★居住地環境 (1:市街地(建物が密集) 2~8:その他)						** p < .01 * p < .05	
★あなたは旅行先や訪問先で以下の眺めに出会ったとき、歓迎されているように感じますか。(感じる／経験なし／感じない)		●市街地居住 n=457 (%)			●その他居住 n=573 (%)			「感じる」 について	「感じない」 についての
No.	想定した眺め	感じる	経験なし	感じない	感じる	経験なし	感じない	の有意差	の有意差
35	手入れの良い庭	82.7	9.2	8.1	85.3	6.5	8.2		
13	自然に咲いた花畑(例:高山・原野・曇原などのお花畑など)	77.7	10.5	11.8	79.6	8.2	12.2		
15	新緑(春の若葉)	76.1	11.4	12.5	77.5	8.7	13.8		
16	紅葉(黄葉も含む)	74.2	11.6	14.2	77.7	8.0	14.3		
23	門前や玄関先の清掃	74.2	10.5	15.3	77.1	9.4	13.4		
33	満開の桜の並木道	74.0	11.6	14.4	80.6	7.9	11.5	*	
21	玄関先に植えられた花	73.1	11.8	15.1	76.4	9.4	14.1		
18	透明な水の川(清流)	72.9	12.0	15.1	76.3	9.8	14.0		
32	新緑の並木道	72.9	11.4	15.8	78.0	8.9	13.1		
11	人が植えて咲いた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	72.6	13.3	14.0	78.9	8.7	12.4	*	
25	「ようこそ」や「歓迎」と書かれている観光地の大型看板	72.0	8.8	19.3	68.8	6.3	25.0		*
20	窓辺を飾る花	68.5	13.3	18.2	70.5	11.3	18.2		
17	食べられる実のなっている果樹(リンゴ、みかん、ぶどう、柿など)	67.0	14.9	18.2	67.5	11.9	20.6		
9	透明な水の海	66.7	17.1	16.2	67.0	14.3	18.7		
39	野の花	65.4	14.9	19.7	70.2	11.3	18.5		
37	手入れの良い農地	64.1	17.1	18.8	63.0	14.5	22.5		
44	大きな鳥居(とりの)	63.7	14.4	21.9	69.1	10.3	20.6		
7	透明な水の湖	61.7	22.3	16.0	67.0	15.2	17.8		
40	道ばたの花	61.1	13.3	25.6	65.1	12.4	22.5		
43	特徴がきわだった塔(タワー・五重塔など)	61.1	14.4	24.5	65.3	12.4	22.3		
41	特徴がきわだった橋	58.2	20.1	21.7	59.2	17.1	23.7		
22	玄関先の打ち水	55.6	16.8	27.6	61.6	14.7	23.7		
42	特徴がきわだった建築	55.6	18.8	25.6	56.0	15.5	28.4		
2	特徴がきわだった巨樹(大きな木)	53.4	28.2	18.4	57.1	22.2	20.8		
45	港の大型船	50.5	18.8	30.6	47.1	20.6	32.3		
1	特徴がきわだった山	50.1	27.6	22.3	53.6	23.4	23.0		
3	海上の島	48.4	25.2	26.5	49.9	23.6	26.5		
30	外から中が見える低い生け垣(植物による垣根)	42.9	20.6	36.5	47.8	16.8	35.4		
4	湖の中の島	37.0	35.7	27.4	36.3	32.1	31.6		
31	外から中が見える柵	34.4	21.7	44.0	36.1	20.8	43.1		
5	川の中の島	25.2	44.9	30.0	25.0	38.7	36.3		*
6	川の中州	24.1	39.6	36.3	23.6	31.9	44.5		**
27	「ようこそ」や「歓迎」と書かれている汚れた観光地の大型看板	22.1	13.6	64.3	23.2	9.6	67.2		
26	「ようこそ」や「歓迎」と書かれている錆びついた観光地の大型看板	17.1	13.8	69.1	13.6	9.8	76.6		**
14	枯れた自然の花畑(例:高山・原野・曇原などのお花畑など)	16.4	17.5	66.1	17.3	16.9	65.8		
29	外から中が見えない高い生け垣(植物による垣根)	13.8	19.5	66.7	9.8	17.6	72.6	*	*
12	人が植えて枯れた花畑(農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む)	13.3	18.8	67.8	15.0	13.1	71.9		
34	枯れた木の並木道	13.1	15.8	71.1	12.9	17.3	69.8		
28	外から中が見えない垂直の窓(クリート・ブロック塀(へい))	5.7	17.1	77.2	3.8	14.8	81.3		
10	濁った水の海	4.6	18.8	76.6	2.8	18.5	78.7		
24	門前や玄関先の汚れやゴミの放置	4.2	12.5	83.4	4.5	11.2	84.3		
8	濁った水の湖	3.9	22.8	73.3	2.6	19.5	77.8		
19	濁った水の川	3.5	15.3	81.2	4.4	16.2	79.4		
36	手入れの悪い農地	2.8	21.7	75.5	2.3	20.6	77.1		
3	手入れの悪い庭	2.6	16.4	81.0	1.6	14.3	84.1		

太枠部分は、 $p < 0.05$ で有意差が認められ、①<③のものと②>④のもの。

①と③の相関係数 $R = 0.9967$ $R^2 = 0.9935$

②と④の相関係数 $R = 0.9943$ $R^2 = 0.9886$

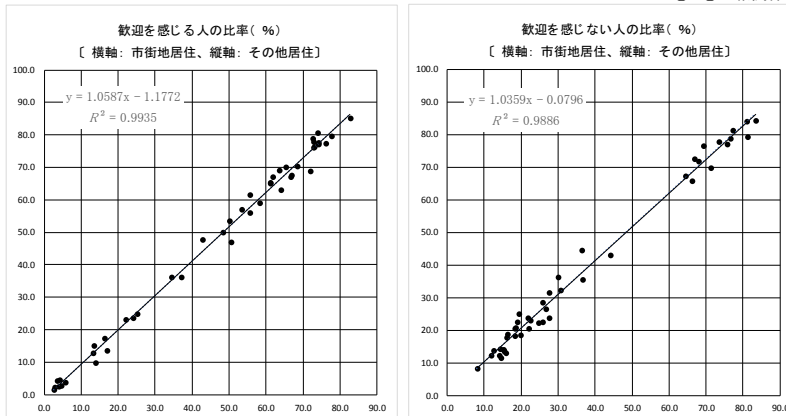


図 9
45 項目の眺めについての「歓迎」を感じる(感じない)比率に關しての居住地環境の違い(市街地か否か)での相関

居住地環境が市街地か否かで歓迎を感じる比率に関して、全 45 項目の選択者比率を使って散布図を描いた結果を図 9 に示す。両者の間の相関係数がきわめて高く、男女の比較で見られた図 6 のような直線的なプロットとなった。さらに 45 項目の「感じる」の選択者比率を元に各項目の順位に着目し、居住地環境が市街地か否かでの順位相関係数を求めたところ、 $\rho=0.9854$ となり、「感じる」の序列にもきわめて強い相関関係が認められた。

従って居住地環境が市街地か否かによって歓迎を感じる感度は大差なく、45 項目で示した眺めや空間表現に対する歓迎の感じ方の序列に関しても、大きく異なるものではないということが確認された。

5. 結論

アンケート①の結果の分析により、図 3 の細い横破線よりも上側のシーンが「歓迎的景観・良好な景観」として目指すべき方向性を示唆している。これは、近景の花や噴水などとともに、眺望によってもたらされる。こうした「歓迎的景観・良好な景観」は、図 4 の太い横破線の上側に並ぶ「親しみやすい」、「気持ち明るくなる」、「こころよい」、「気持ちが落ち着く」、「広々している」、「美しい」で表される“快さ・美しさ”とともに、「もてなしを感じる」、「歓迎的」、「心がこもっている」、「洗練されている」、「新鮮な感じ」、「手入れの良い」で表される“もてなし・こざれいさ”によって構成される『良好さ』によってもたらされる。一方、図 3 の細い横破線より下側のシーンは「排他的景観・不良な景観」として回避すべき方向を示しており、手入れの悪さなどがもたらす「負効果看板」や「管理不足」がもたらす「排他的景観・不良な景観」や、細い横破線と太い横破線との間に位置している「排他的要素を含む景観」は極力発生させないようにすることが必要と言える。これらは、図 4 における太い横破線の下側に並ぶ「よそよそしい」、「拒絶的」、「不快」、「きたない」、「不安な気持ちになる」、「気持ちが暗くなる」、「狭苦しい」で表される“排他・不快”とともに、「もてなしを感じない」、「心がこもっていない」、「洗練されていない」、「手入れの悪い」、「古ぼけた感じ」で表される“もてなしのなさ”によって構成される『不良さ』によってもたらされる。

従って、こうした『良好さ』を高め、『不良さ』を軽減するような景観デザインが、歓迎を感じさせる空間作りには必要とされる。

さらにアンケート②の結果の分析により、旅行先や訪問先で想定される歓迎を感じる（感じない）眺めあるいは空間表現 45 種類のうち、歓迎を感じさせるものは「手入れの良い庭」、「自然に咲いた花畑（例：高山・原野・湿原などのお花畑など）」、「満開の桜の並木道」、「新緑（春の若葉）」、「人が植えて咲いた花畑（農地の花・果樹の花・公園の花壇などを含む）」、「紅葉（黄葉も含む）」などであり、花や自然の草木がもたらす季節毎の美しさが歓迎をもたらしやすい。さらに「門前や玄関先の清掃」、「新緑の並木道」、「玄関先に植えられた花」、「透明な水の川（清流）」なども歓迎を感じさせる眺めの上位を占める。また「特徴が際立った橋・建築・巨樹・山」などのランドマークも 5 割以上の人に歓迎を感じさせることができる。逆に手入れの悪い観光看板などや汚い水、手入れの悪い庭や農地など、手入れ不足や管理不良な状況は歓迎の印象を低下させ

る要因となる。

以上の結果は、先に示した仮説「多様な空間表現によって来訪者を歓迎することが可能であり、その効果の大きさは空間表現の内容によって優劣がある」を支持するものであった。さらに、男女別では女性の方が、景観関心の有無では景観関心の高い人の方が、また風景写真撮影の好みでは風景写真撮影を好む人の方が、眺め・空間表現での歓迎を感じる感度が高いことが示された。一方、居住地環境が「建物の密集する市街地」かあるいは「比較的緑地の多い地域」かの違いは、眺め・空間表現における歓迎の感じ方に違いはほとんど見られなかった。今後、歓迎に関しての景観デザインを検討する際には、景観関心の高い層や、風景写真撮影を好む層の意見を重視することが、より高質な歓迎表現をもった空間形成に有用と判断される。

なお、本研究では多数の回答者を得るためにインターネットアンケートを用い、PC のディスプレイに一定画質 (800×600pixel) 以上で画像表示できることを条件として回答してもらったが、インターネットアンケートのシステム上の制約から画像提示順序が固定されてしまっている。このため個々の画像の評価において順序効果が発生している可能性は否定できない。また画質の面でもシステム上の制約から 800×600pixel 以上にはできなかった。こうしたアンケートのシステム上の制約は、PC の性能やインターネット環境に依存しており、今後の技術革新によって改善されるものと期待される。

今回は日本国内在住の回答者（日本人が大部分を占める）を対象としてアンケートを実施したため、日本の文化の影響を受けた者の回答である。歓迎に関しては、国や文化によって捉え方や感じ方が異なる可能性があり、同様な調査を国際的に行うなどの課題が残されている。

補註

- 1) 室谷正浩 (1998) pp.78-89
- 2) 屋代雅充 (2015) p.207
- 3) 屋代雅充 (1985) pp.203-214 または 屋代雅充 (2010) pp.407-408
- 4) 前掲書 2) pp.207-208
- 5) 中村良夫 (1980) pp.43-44
- 6) 前掲書 5) p.45
- 7) 中村良夫 (1987) pp.3-13
- 8) 服部勝人 (2008) pp.33-102
- 9) 事前に東海大学の倫理委員会に「人を対象とする研究」としての審査を依頼し、承認を得ている。

引用文献

- 中村良夫 (1980) 「都市の風景」、都市問題研究 32(2) 通巻 350 号
- 屋代雅充 (1985) 「景観をデザインする ―景観デザインの対象と仮想行動のための景観デザイナー―」、『山河計画 “景”』、思考社
- 中村良夫 (1987) 「作法秩序としての都市景観」、国立公園 No.449、(財) 国立公園協会
- 室谷正浩 (1998) 『新時代の国内観光 魅力度評価の試み』、運政研叢書 002、運輸政策研究機構
- 服部勝人 (2008) 『ホスピタリティ・マネジメント入門 第2版』、丸善株式会社
- 屋代雅充 (2010) 「5.2.1 景観現象の把握法」、「5.2.2 人の知覚と景観体験」、(社) 農業農村工学会編『農業

農村工学ハンドブック』、(社) 農業農村工学会

屋代雅充 (2015) 「景観ツーリズムの新潮流と地域活性化」、地域デザイン学会誌『地域デザイン』No.6

初出は (2004) 「美しい景観と観光地について」、財団法人日本交通公社 “美しい観光地づくり研究会”
第3回 講演資料 (https://www.jtb.or.jp/wp-content/uploads/2014/12/report2006_3-1.pdf)

謝辞

本研究は JSPS 科研費 25501019 の助成を受けたものである。「景観体験における空間のホスピタリティと眺望の価値に関する研究」 基盤研究 C、2013-2015

Studies on Spatial Hospitality and Value of View in Experiencing Landscape

This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number 25501019.

記して謝意を表する。